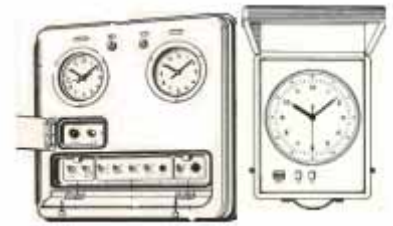


4. 時間の話

時間の説明をしましょう。標準時はグリニッジで、地球を一周すると東回り 180° (E)、西回りで 180° (W)、併せて 360° で、その合わさるところが 180° ライン(日付け変更線)です。そうすると地球一周 360° 、一周して1日(24時間)ですから、 $360 \div 24 = 15$ 即ち、経度 15° 毎に1時間ずれます、これが時差です。我が国の標準時間(JMT)は明石市ですが日本の中心ではありません。



その秘密は経度線 135° が明石市の中心を通っているからです。135は15で割れますから、時差を計算するのに便利です。即ち英国との時差は9時間です。ですから各国とも15で割れる経度線を標準時線としています。ところが横幅の大きな国はそうはいきません。例えばロシアはベーリング海からバルト海まで地球の半分近くあるので11のタイムゾーンがあり、アメリカもメインランドだけでも4つのタイムゾーンがあります。ところが中国のような幅のある国でも、北京時間で統一しているような国もあります。

船乗りの一番の苦手はこの時差です。特に太平洋を横断するアメリカ航路は最も嫌われもので、往航は毎日1時間進み、日付変更線では同じ日が続き何故か損をしたような気分になります。この頃になるとJSTと5,6時間違ってきますから、朝起きるのが辛く、食欲もとたんに無くなります。復航は反対に1時間ずつ遅れますからこれまた辛い日々になります。ですから南北に航行する豪州航路が最高に悦ばれる航路なのです。

鼠小僧次郎吉が「子の刻参上」と言えば真夜中の12時です。「草木も眠る丑3ッ刻」と言えば、丑の3ッは夜中の2時30分位です。1ッというのは30分です。また方位は丑寅の方向は北東、辰巳は南東になります。

東京商船大学(現東京海洋大学)がある越中島の近くに門前仲町という街があり、江戸時代から戦前まで色町がありましたが、ここの芸者衆を辰巳芸者と呼んでいました。これは門前仲町の位置が江戸城を中心として見た場合南東(辰巳)にあったからです。

もう一つ海で大事なことは経度線がありますが、日本的に言うと子午線と言います。これは子(北)と午(南)を結んだ線だからです。